

あたたかい心の町に

話し合いの輪をひろげ、なごやかな 社会をつくります。

わたくしたちが望む生活の豊かさは、未来に向かって限りなくふくらみ、生きがいのある幸福な生活を願っていますが、この願いは人間ひとりだけの力では、かなえられるものではありません。

一人ひとりの人間の弱さは、社会共同体としての自覚のもとで、はじめて克服され、理想の実現を可能に導く力となるのです。

わたくしたちの幸せは、みんなの幸せのなかで大きく果たされるものであり、各自が連帯と寛容の精神で、互いに相手の立場を理解し、助け合い、そして隣人同士があたたかい愛情で支えあうことにより、なごやかな社会が実現されるものです。

なごやかな社会の基礎は、相互の責任を正しく自覚し、お互いの理解を深めることです。このことは、さりげない会話にはじまり、対話によって心を通わせ、手をつないでいこうとする連帯意識をもとにして、協調と信頼の精神で、思いやりのあるあたたかい心のまちづくりを実践することにほかなりません。

今日ある地域の発展は、先人のたゆまぬ努力と営々として受け継がれてきた文化などによるものであり、祖先の偉業に感謝をささげつつ、社会の秩序を守り、他人の人権を尊重し、あたたかく明るい郷土の建設につとめることが必要です。

実践上の具体例

- 毎日のあいさつを通じて、心と心の結びつきを深めましょう。
- ありがとう！と感謝の気持ちを大切にしましょう。
- お互いに助け合い、親切をつくし、なごやかな毎日をおくりましょう。
- 隣り近所の関係を大切にし、対話のあるまちをつくりましょう。
- きまりと約束を守り、相手の身になって行動しましょう。
- 話し合って地域の問題を解決しましょう。

